

# 友好の絆を深めた姉妹都市交流

～第31回中学生大使フッドリバー訪問記～

3月15日(日)から24日(火)までの日程で、中学生大使15人が姉妹都市米国オレゴン州フッドリバー市を訪問してきました。生徒たちははるか1万キロ離れた大地で、言語や文化の違いに期待と不安を抱きつつも、大きな目を開き、耳を傾け、多くのことを学ぶとともに、人生の宝となる大切な思い出を作ってきました。



(左) 歓迎会のアトラクションでは、生徒が剣道の立ち合いを披露。フッドリバーの人たちからは「サムライ」と呼ばれた生徒もいました。



(右) 中学生大使1人ひとりに、ブラックバーン市長から名誉市民証が授与されました。

## フッドリバーを訪問した生徒たちが体験発表

5月14日(木)、米国フッドリバー市を訪問した中学生大使と、昨年11月に同市を訪問した鶴田高校国際教養コースの生徒が町国際交流会館で体験発表を行いました。

生徒たちは、ホストファミリーとの思い出や日本との違いなどを報告。「何もかもが新鮮で大切な思い出になった」と生き生きとした表情で訪問の感想を発表していました。

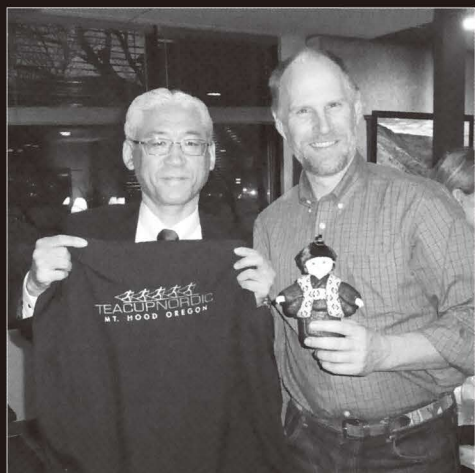


△鶴田高校の生徒による発表

## 訪問団の主な日程

3月15日(日)	鶴田を出発→成田空港 →フッドリバー到着 ホストファミリーがお出迎え。歓迎会
3月16日(月)	ホストファミリーと中学校へ登校(～17日) ボウリングを楽しむ
3月17日(火)	ローラースケートと ドッジボールを楽しむ
3月18日(水)	小学校見学 桜の記念植樹 ダウントウンで自由散策
3月19日(木)	レイ・ヤスイさんとエイコ・タダクマさんのお墓参り ポートランドでショッピング
3月20日(金)	ダム見学 ハイキング
3月21日(土)～22日(日)	ホストファミリーと一緒に過ごす
3月23日(月)	フッドリバーを出発

GREETINGS



△ブラックバーン市長（右）と相川町長

第31回中学生大使訪問団団長

鶴田町長 **相川 正光**

今回の経験を今後の人生に生かし、  
フードリバーへの思いを忘れないでください。

姉妹都市米国オレゴン州フードリバー市との交流も早37年を迎え、中学生大使の派遣も今回で31回目を数えております。

当町の国際交流は、昭和52年7月27日から「まちづくりは人づくり」の基本理念で「国際交流による人づくり」を進めて参りました。これまでの両町の交流人口は1650人に上り、中学生大使の交流も607人となりました。

3月15日から24日までの9泊10日間の日程で、鶴田中学校2年生生徒15人（男子4人、女子11人）がフードリバー市を訪問してきました。フードリバーは、全米から人が集まるリゾート地になっています。また、梨やリンゴなどの大規模農園は見渡す限り広がっており、その眺めには圧倒されました。一方で、フードリバーの市民の皆さんは、我々を優しくもてなしてくださり、鶴田町とフードリバー市との長いつきあいを感じました。生徒の皆さんも、外の世界を見て、内の良さを再発見し、フードリバー市との交流の架け橋になったことと思います。

今回の経験を今後の人生に生かし、姉妹都市フードリバー市への思いを忘れないでください。



五感をフル活用

石岡 伶奈 さん

フードリバーでは、アメリカの人の優しさに触れ、日本との文化の違いを学ぶことができました。

訪問した中学校では、授業中にお菓子を食べたり、普通に立ち歩いたり驚きの連続でした。今回の訪問では、五感を活用してコミュニケーションをとることで英語の難しさを改めて体験しました。もっと英語を学んで、経験を積んで、またフードリバーに行きたいと思います。私たちが優しく受け入れてくれたホストファミリーには感謝し、今回学んだことを今後の生活に役立てたいです。



僕が学んだこと

新岡 瑠唯斗 くん

フードリバーに行ってみて自分の知らないことがたくさんありました。話すことや聞きとることができず、不安な思いもありましたが、ホストファミリーや学校みんなが優しく接してくれて少しずつ打ち解けていくことができました。失敗を恐れないこと、積極的にコミュニケーションをとることの大切さを学び、日本の良さにも気付くことができました。アメリカの文化に触れ、生活したことで大切な思い出をたくさん作ることができました。この経験を人生に生かし、もっと勉強してまた、フードリバーに行きたいです。



体で感じた  
日本との違い

寺山 佳那 さん

今回の訪問は日本では体験できないことの連続で、日本との違いをたくさん感じました。ホストファミリーの皆さんは初対面にもかかわらず、優しく迎えてくれました。学校訪問の時も生徒のみんなが笑顔で話しかけてくれたり、ダウンタウンでの買い物でも街の人たちが気軽にあいさつしてくれました。英語でコミュニケーションをとることは難しかったですが、ジェスチャーや習った英語を最大限に使って会話したことは今までにない経験で楽しかったです。もっと英語を勉強してフードリバーにもう一度行きたいです。



また行きたい  
フードリバー

加賀谷 咲季 さん

ドキドキ、ワクワクのフードリバー訪問。ホストファミリーと一緒にいった中学校では、授業中に立ち歩いたり、お菓子を食べたりする人がいて驚きの連続で日本とアメリカの違いを学ぶことができました。英語を話すこと、聞き取ることが難しく、自分がやりたいことなどが伝わらなくて大変でしたが、伝わった時は嬉しかったです。ホストファミリーの皆さんも分かりやすくジェスチャーを交えて会話をしてくれて優しくしてくれました。今回の訪問では、文化の違いを学び、たくさんの思い出を作ることができました。



**感謝の気持ち  
忘れない**  
井上京香さん

まずはフッドリバーに行かせてくれた家族と支えてくれた人々への感謝の気持ちでいっぱいでした。2日目まではさみしかったけど、3日目以降は慣れてきて、一日が過ぎるのがあつという間でした。特に印象に残っているのは、大好きなサッカーの試合に連れて行ってもらったことです。見ている時はすごく興奮して、私にとって一生忘れられない日となりました。

今回のフッドリバーでの生活で学んだことは私の宝物です。この経験を生かし、これから出会う人たちに文化の違いを伝えていきたいです。



**I can't thank  
you enough**  
下山広嗣くん

— I can't thank you enough —  
これはアメリカの諺で、「感謝してもしすぎることはない」という意味です。フッドリバーでは、いろいろな体験をしてきました。僕の目標は、どれくらい自分の英語が通じるかでした。買い物では、「How much?」と言ってもなかなか通じなくて少し残念でした。ホストファミリーが笑顔で接してくれたおかげでジェスチャーを交えながら気持ちを伝えることができました。

このような機会を与えてくれた皆さんに「Thank you very much」と伝えたいです。



**私の新しい物語**  
佐々木涼音さん

今回の訪問では、外国との文化の違いに驚きました。2日目、3日目は中学校を訪問しましたが、まず制服がありません。もっと驚いたことは、お菓子を食べながら授業を受けていたことです。でも、少しだけうらやましく思いました。

食事をする際は、ナイフとフォークしか使わないので、慣れるのに苦労しました。

今回の経験で日本と外国との文化の違いを学ぶことができました。貴重な体験をさせてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。



**フッドリバー  
での経験**  
瓜田佳穂さん

初めての経験で心に残ったことがあります。一つ目はアメリカの人たちの優しさです。初めてホストファミリーと会った日、私は緊張して英語が上手く伝わりませんでしたが、優しいホストファミリーは私の緊張をほくしてくれたことを覚えています。二つ目は、日本とアメリカの学校の違いです。アメリカの学校では、授業中に音楽を聴いたり、お菓子を食べたりと、日本と違う学校生活が印象的でした。

今回の訪問は初めてのことばかりでしたが、すべてがいい経験となり、忘れられない思い出になりました。



**最高の思い出**  
成田紅葉さん

結団式当日は、ワクワクしながら目覚めました。「行ってきます」のあいさつをしてフッドリバーへ旅立ちました。

最初はホストファミリーとも上手くなじめず、早く日本に帰りたと思っていましたが、フッドリバーの人たちはとても温かくてすぐに仲良くなれて友だちもできました。休日はホストファミリーと過ごしました。ホストファミリーは私たちのことを楽しませようと一生懸命考えてくれました。お別れの時には、ホストファミリーのお母さんが泣いていて、本当に悲しかったです。でも、また会えることを信じています。

- ①訪問した中学校で
- ②マルトノマの滝前で記念の集合写真
- ③訪問した中学校で楽しくローラースケート
- ④みんなでチキンダンス





滞在中、お世話になったホストファミリーと



温かい  
フッドリバーの人々  
原子 零生 くん

僕にとって今回の訪問は、異国の文化についてたくさん学ぶことができた本当に貴重な経験でした。

僕と広嗣くんは、ホストファミリーがどんな人たちなんだろうとドキドキしていましたが、会ってみるととても優しくて親しみやすい人たちでした。3日間お世話になったヘンダーソンさんの家はバスケットコートやビリヤード台、プールまであってすごい家でした。また、僕の誕生日にはケーキをごちそうしてくれました。

フッドリバーの人たちはにぎやかで温かいとてもいい人たちでした。



一生忘れられない  
貴重な経験  
松山 有平 くん

フッドリバーでの思い出はすべてが最高なものでした。

ホストファミリーのディーゼルとタロンと一緒に中学校へ行ってバスケットをしました。ダウンタウンでの買い物では初めてのことが多く、英語をたくさん使いました。家に帰ってからもビリヤードやラクロスをして遊んだり、プールや露天風呂にも入りました。一緒にお寿司を食べたりもして日本に帰りたくないと思いました。

お別れの時は寂しかったですが、将来もっと英語を話せるようになってまたフッドリバーに行きたいです。



授業では  
学べないこと  
伊藤 水 さん

私は外国に行くことが始めてだったので、フッドリバーに行く日が近づくにつれ、とてもドキドキしていました。

中学校訪問では、日本と違って授業中に飲食をしいことや、ルールが日本のように厳しくないことに驚きました。また、ホストファミリーや出会った人たちの優しさが心に残っています。英語が聞き取れない時もあったけど、たくさん話しかけてきてくれてすごうれしかったです。

授業では学べないとてもいい経験が今回の訪問でできたので、これからの生活に役立てていきたいです。



いろんな思い出  
坂本 有希 さん

フッドリバーで特に印象に残っている思い出は、中学校訪問とホストファミリーとのパーティーです。

訪問した中学校は、授業の受け方が日本とは違い、先生が一人ひとり自分の教室を持っていて、生徒が授業を受けに行く方法で私にとってはすごく新鮮でした。パーティーでは、いろんな人と食事やカラオケをしました。カラオケはすごく盛り上がってとてもいい思い出になりました。

今回のフッドリバー訪問では、思った以上の経験ができたので、これからの生活に生かしていきたいです。



幸せな時間  
長内 和愛 さん

ホストファミリーと会った時、「本当に英語しか通じないんだ」ととても緊張しました。それでも、ホストファミリーが簡単な英語で話してくれたので、なんとか会話をすることができました。

フッドリバーでは、たくさん良い経験をしました。特に中学校訪問では、日本との違いをたくさん知ることができました。一番楽しかったことは、優しいホストファミリーとの時間です。散歩したり、パーティーで歓迎されたり、とても幸せな時間を過ごすことができました。

今回の思い出は絶対に忘れません。



海をこえて  
佐藤 香 さん

私たちが海をこえて行ったフッドリバーでは、桜が咲いていました。

人生初の海外旅行は、約10日間という長い滞在期間で、多くのことを体験し学んできました。その中には、驚きもありましたが、楽しいことの方が多かったです。アメリカの人たちは優しくておもしろい人ばかりですぐに仲良くなれました。現地の学校では、日本との違いを一番見ることができました。

今回の訪問はとてもいい経験になりました。フッドリバーにはもう一度行ってみたいと思うので、次はもっと上手に英語を話せるように勉強します。